

平成22年度第1回図書館協議会議事録

1 開催日時 平成22年6月19日(土)午前10時～12時00分

2 開催場所 中央図書館2階視聴覚室

3 出席者

(委員) 方波見委員長 花岡委員 橋本委員 田中委員 土久委員
舟田委員 根津委員 軽部委員 須賀委員

(事務局) 大野教育次長 織戸生涯学習部長、石川生涯学習部次長
森田館長 齋藤副館長 本多係長 長田係長、森田副主査

4 議題

(1) 報告事項

平成21年度利用統計及び事業報告について

平成21年度決算見込について

平成22年度事業計画について

高洲分館の開館について

平成21年度図書館の点検・評価について

その他

(2) 協議事項

資料収集について

5 議事の概要

平成21年度利用統計及び事業について事務局より報告を行った。

平成21年度決算見込について事務局より報告を行った。

平成22年度事業計画について事務局より報告を行った。

高洲分館の開館について事務局より報告を行った。

平成21年度図書館の自己点検評価結果について事務局より報告を行った。

その他として舞浜駅前行政サービスセンターの図書サービス開始について事務局より報告を行った。

資料収集について協議を行った。

6 会議経過

平成21年度利用統計及び事業について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

(質問) パスファインダーはホームページでも公開しているのか

(回答) ホームページでも公開している。昨年度から市民大学と創業支援セミナーに対応したものを作成し、配布している。

- (質問) 主題が狭いと後の利用が見込めないことがあり、広く網をかぶせたほうが応用が利く。
- (回答) 市民大学のカリキュラムに沿ったもので、ピンポイントで作成している。一般的な主題については今後の課題である。
- (質問) 分館の活動がめざましい、ホームページの「分館たより」の分館のコメントはどれくらいの頻度で更新されているのか
- (回答) 月2回更新している。
- (意見) 宝塚市で児童書の福袋を始めたが、浦安でもやっているとの断りがあった。こういうことは市民としてうれしく思う。
- (意見) 右上がりの利用はすばらしい。電車内で浦安市立図書館の本を読む人を多く見かける、市民への定着をめざましく感じる。コミュニティーに入れないお母さんに、ブックスタート絵本講座など仲間のできる場を提供するなど、児童に対するサービスの充実を感じる。
- (意見) 市民大学との協働など市民が社会問題に取り組むことを支援することは良いことである。日本公共政策学会、日本行政学会でも市民参加に図書館が有効であると注目されている。図書館ももっとPRを行ったほうが良い。

平成21年度決算見込について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- (意見) 職員研修費に関連し、全国で図書館の正規職員が減っていることもあり、中級上級の各研修会などで受講生を集めるのが難しくなっている。研修会も減り職員のスキルアップの機会が減っている。
- (質問) 浦安からの講師派遣は多いのか。
- (回答) 毎年数件はあるが、他と比べ多いのかは未確認。
- (意見) 浦安は他に比べて多いと思う、日本図書館協会の専門委員会への派遣なども多い。
- (回答) 全国で司書の採用の少ないなか、本市では平成20年度に2名の職員を採用した。ただ、公共政策がクローズアップされているなかで、自治体の中でどう図書館を位置づけるかが重要になる。そのような状況で、図書館の中にこもって、一般行政に対する理解が少ないようでは困る。自治体の中での図書館のアピールも必要である。誰にでもできるサービスなどや、過剰なサービスで民に切り替わる自治体の話しも出てくる。浦安が先進的になって走ってゆくことが日本の図書館が元気になるために必要であると思う。
- (意見) 千葉県で図書館の専門職の採用があるらしい。図書館と行政部門の人事交流も必要かと考える
- (回答) 行政で行うイベント等への参加などの交流は積極的に行っている。

- (意見) 指定管理者制度の問題であるが、職員が短期雇用になっており、継続性を維持できないところには自治体への帰属感は生まれず、良いサービスは期待できない。
- (意見) 図書館サービスは人的サービスであり、指定管理制度において削れるものは人件費である。それ以外を削るビジネスモデルは現在のところできていない。
- (回答) 図書館側が発信をしないと貸本屋になってしまう。情報に付加価値をつけることができるのが図書館であり、図書館のスタッフは誰がやっても同じでないことをアピールすることが重要である。

平成 22 年度事業計画について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- (意見) 分館で行っているえほんのじかんを見た。赤ちゃん連れの親子が多く、とても和やかな良い雰囲気、司書ならではの事業である。
- (質問) 今後分館設置の計画はあるのか。
- (回答) 弁天ふれあいの森公園内に公民館用地が確保されているが、現在市民との話し合いの中で公共施設の希望を聞いている段階である。
- (意見) 明海大学の図書館は子どもが入れないが、日の出分館はロビーを利用し、えほんのじかんを開いている。子どもたちの顔が生き生きしている。本を読む習慣を付ける上で有意義である。

高洲分館の開館について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見(質問)は次のとおり。

- (質問) 月曜日の業務には返架も含まれるのか。
- (回答) 現在調整中であるが、基本的にはマーレ図書サービスコーナーと同様の業務を考えている。
- (意見) 午後 6 時までの開館はうれしく思う。
- (回答) 今回初めての試みである。利用者からすれば歓迎されるだろうが、全館に広がった場合など、時間延長というサービス向上による効果と、時間延長に伴う業務負担、コスト負担などを検証してゆく必要がある。
- (意見) 7 時、8 時までではなく、6 時までの 1 時間で大きく違うと思う。長時間の延長は望まないが、夏だけ延長という方法もある。
- (意見) 1 番の問題はコストではないか。
- (意見) 現在の社会状況の中では利用の少ない分館はむしろ開館時間が短くなるのが心配。海外では閉鎖される分館も多い。イギリスでは分館のパートタイマー開館がみられたが、そこが財政難から閉鎖される例が出ている。

平成 21 年度図書館の自己点検評価結果について事務局より報告を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（質問）要約したページがあるとよい。達成率にばらつきがあるが今後目標値の見直しを図るのか。

（回答）平成22年度分では評価項目並びに目標数値の見直しを行い、適正化を図った。

その他として舞浜駅前行政サービスセンターの図書サービス開始について事務局より報告を行った。

意見（質問）なし

資料収集について事務局より経緯説明を行った。

その際に表明された意見（質問）は次のとおり。

（意見）電子書籍について、昨今急激な普及が進んでおり、図書館へのアプローチも多いと思うが、図書館側の対応策、方向性が見えてこない。浦安の図書館が全国の先駆けになるような方向性を考えて欲しい。メインの検討テーマとしてもらいたい。

7 傍聴者 0名